

## 委託仕様書

### 1 委託業務名

カーボンニュートラル福井コンソーシアム「オープンフォーラム」等運営業務

### 2 委託の目的

県内の企業や団体等の多様な主体が、カーボンニュートラルに向けた現状や課題を共有し、現場での課題解決やネットワーク構築を図れる場として設けた、カーボンニュートラル福井コンソーシアム「オープンフォーラム」(※)を県とともに運営し、本県における2050年のカーボンニュートラルの実現や新たな価値づくりを進めていく。

#### ※カーボンニュートラル福井コンソーシアム「オープンフォーラム」

令和5年11月、本県の2050年カーボンニュートラルの実現のため、産学官金民の連携組織「カーボンニュートラル福井コンソーシアム」を設置。コンソーシアムは、各界の代表者による「全体会議」と、企業・団体等の経営者・実務担当者による「オープンフォーラム」の二部構成としている。「オープンフォーラム」では、企業・団体等のニーズを踏まえながら、セミナーやワークショップ等の勉強会・交流会を通じ、現場での課題解決やネットワーク構築を図っていく。

### 3 委託期間

委託契約締結の日から令和9年3月31日まで

### 4 委託事業の内容

#### (1) シンポジウムの開催

再生可能エネルギーやカーボンニュートラル等をテーマとしたシンポジウムを開催することで、県民や企業・団体等の脱炭素に向けた実践的取組みの動機づけや2050年カーボンニュートラルの実現に向けた理解促進を図る。

##### ① 名称

カーボンニュートラル普及啓発シンポジウム（仮称）

・イベント名については、実施内容に即した名称を新たに検討すること。

##### ② 日程・開催会場

(ア) 時期 10月から11月までの平日午後

(イ) 会場 福井市内

##### ③ シンポジウムの構成

(ア) 基調講演：カーボンニュートラル実現の必要性について有識者の講演を想定（1名）

(イ) パネルディスカッション：福井県内で先進的に脱炭素に取り組んでいる企業・団体等をパネラーとして想定（4名程度）

(ウ) その他：国や県の支援制度の紹介を想定

##### ④ 業務内容

(ア) テーマの検討

・基調講演およびパネルディスカッションのテーマを検討し、県と協議の上決定すること。

- (イ) 登壇交渉、会場手配
  - ・決定したテーマにふさわしい登壇者や会場を県と協議の上決定し、登壇交渉や会場の予約等の手配を行うこと。
  - ・講師の謝金・旅費、会場使用料の支払いを行うこと。
- (ウ) 集客用の周知媒体の作成
  - ・シンポジウム集客用に以下の周知媒体作成業務を行う。
    - i) 周知用チラシ（A4サイズ）のデザイン・印刷  
印刷部数：200枚程度
    - ii) 周知用ポスターのデザイン・印刷  
印刷部数：50部程度
    - iii) 作成したチラシはデータでも周知に活用すること。
    - iv) その他の周知用媒体の企画と周知の実施
- (エ) 参加者の募集
  - ・(ウ) で作成した周知用媒体やウェブサイト、新聞広告、SNS等を活用し、参加募集を行うこと。
  - ・参加申込を集計・管理し、参加申込状況を発注者の求めに応じて報告すること。
    - i) 参加者数 200人を目安とする。
    - ii) 募集対象 県内の企業、団体、行政機関、一般県民 など
    - iii) 申込受付方法 原則としてオンラインフォームで受け付けること。
- (オ) 会場設営・進行・撤収
  - ・会場の設営、後片付けを行うこと。
  - ・シナリオを作成し、当日の進行を行うこと。
  - ・シンポジウムの様子はオンラインで配信し、動画を県に納品すること。
  - ・オンライン配信に必要な機材を手配すること。
- (カ) 参加者アンケートの実施
  - ・参加者に対し、シンポジウムの内容の理解度や満足度、脱炭素施策に関する意見を問うアンケートを実施すること。
  - ・アンケートの結果を集計・分析しサマリーを県に報告すること。
- (キ) シンポジウム開催結果の周知
  - ・シンポジウムの基調講演の概要やパネルディスカッションの開催結果について、周知用媒体を活用して県民に広く周知する。

## (2) セミナー・ワークショップの開催

県民や県内企業・団体等の実務担当者が、カーボンニュートラルに取り組むための基礎知識を身に着けるとともに、その後の参加者による自発的な集まりを促し、自立した活動につながるためのセミナーやワークショップ（参加者同士の対話や交流が生まれる仕組み）を開催する。

### ① 時期、回数、開催会場

- (ア) 時期 概ね5月から12月までの間
- (イ) 回数 6回以上
- (ウ) 会場 原則、福井市内とし、開催テーマに応じて適切な地域で実施すること。

### ② 業務内容

#### (ア) テーマの検討

- ・行政だけでなく多様な主体の連携を強化し、関連施策の高度化や連携プロジェクトの実施につながり、かつ、社会一般の注目を集め集客が見込めるテーマを県と協議の上決定すること。

- テーマの例) ・次世代太陽電池
  - ・カーボンクレジットの創出・活用
  - ・浮体式洋上風力発電
- ・先進企業の視察等のフィールドワークを一回以上取り入れること。

(イ) 講師・会場手配

- ・決定したテーマに合わせて講師や会場を県と協議の上決定し、手配を行うこと。
- ・講師の謝金・旅費、会場使用料の支払いを行うこと。

(ウ) 参加募集用リーフレットの作成

- ・セミナー・ワークショップごとに、以下の情報を記載した参加募集用リーフレット(カラー)を作成すること。

- i) 日時
  - ii) 場所
  - iii) セミナー・ワークショップタイトル
  - iv) 演題
  - v) 講師情報(氏名、顔写真、略歴等)
  - vi) 対象者
  - vii) 定員数
  - viii) 開催方法(対面、オンライン等)
  - ix) 申込期限、申込方法
- ・掲載する講師の情報について講師の承諾を得ること。

(エ) 参加者の募集

- ・(ウ) で作成したリーフレットやウェブサイト、SNS等を活用し、参加募集を行うこと。
- ・参加申込を集計・管理し、参加申込状況を発注者の求めに応じて報告すること。
  - i) 参加者数 30人以上を目安とする。
  - ii) 募集対象 県内の企業、団体、行政機関、一般県民 など
  - iii) 申込受付方法 原則としてオンラインフォームで受け付けること。

(オ) 会場設営・進行・撤収

- ・会場の設営、後片付けを行うこと。
- ・シナリオを作成し、当日の進行を行うこと。
- ・セミナー・ワークショップの様子は原則としてオンラインで配信し、アーカイブ動画として県に納品すること。オンライン配信やアーカイブ動画の録画について、講師に都度了承を得ること。

(カ) 参加者アンケートの実施

- ・参加者に対し、セミナー・ワークショップの内容の理解度や満足度、今後の内容に対する要望等を問うアンケートを実施すること。
- ・アンケートの結果を集計・分析しサマリーを県に報告すること。

(3) 募集用ウェブサイトの作成・運用

シンポジウム、セミナー・ワークショップ等の周知用ウェブサイトを作成・運用する。

① ウェブサイトの要素

(ア) オープンフォーラムの概要紹介

(イ) 参加募集中のシンポジウムおよびセミナー・ワークショップの概要、参加申込フォーム

(ウ) 開催済みのイベントの資料・動画

② その他

- ・県HP等へのリンク掲載など、県の指示に従い適宜対応すること。

#### (4) 共通事項

- ・本事業により企業・団体の脱炭素への機運を高めるとともに、事業終了後も、民間レベルで自主的に活動が持続されることを意識すること。
- ・開催経費のうち、講師等の謝金・旅費については、県に支払額を確認すること。

#### 5 実施計画書および事業報告書

- ・本業務の委託契約締結後、速やかに実施計画書を作成・提出し、業務を実施すること。
- ・委託事業の終了後に、委託事業完了報告書を提出すること。

#### 6 協議・打合せ

- ・業務遂行に当たっては、着手時に県と打合せを行い、実施計画やスケジュール等について報告すること。
- ・中間協議・打合せを適宜行い、進捗状況の確認等を行うものとする。
- ・打合せの議事録を打合せ実施日から2営業日以内に作成し県に提出すること。

#### 7 著作権等

- ・本業務によって発生した著作・制作物に係る著作権その他の知的財産権は、県に帰属するものとする。また、著作・制作物の著作者人格権については、将来にわたり行使しないこと。
- ・本業務の完了後、万が一著作権等に関する事故・問題が発生した場合は、受託者の責任において処理・解決すること。

#### 8 留意事項

- ・委託仕様書に定めのない事項や細部の業務内容については、その都度、県と協議すること。
- ・委託事業の実施に当たっては、適宜、県との打合せの上、県の上承を得ること。